

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公開番号】特開 2018-26393 (P2018-26393A)

【公開日】平成 30 年 2 月 15 日 (2018.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-006

【出願番号】特願 2016-155528 (P2016-155528)

【国際特許分類】

H 0 1 G 11/06 (2013.01)

H 0 1 G 11/30 (2013.01)

H 0 1 G 11/46 (2013.01)

H 0 1 G 11/42 (2013.01)

H 0 1 G 11/32 (2013.01)

H 0 1 G 11/24 (2013.01)

【 F I 】

H 0 1 G 11/06

H 0 1 G 11/30

H 0 1 G 11/46

H 0 1 G 11/42

H 0 1 G 11/32

H 0 1 G 11/24

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 23 日 (2019.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正極、負極、セパレータ、リチウムイオンを含む非水系電解液を備える非水系リチウム型蓄電素子であって、

該負極が、負極集電体と、該負極集電体の片面上又は両面上に設けられた、負極活物質を含む負極活物質層とを有し、該負極活物質はリチウムイオンを吸蔵・放出できる炭素材料を含有し、

該正極が、正極集電体と、該正極集電体の片面上又は両面上に設けられた、活性炭からなる正極活物質を含む正極活物質層とを有し、

該正極が、該正極活物質層の全質量を基準として、1 質量 % 以上 50 質量 % 以下の炭酸リチウム粒子を含有し、

該正極の断面の顕微ラマン分光測定により得られるイメージング画像において、断面積に占める炭酸イオンマッピングの面積比率が、1 % 以上 40 % 以下であり、

前記炭酸リチウム粒子の数平均粒子径を X_1 とするとき、 $1 \mu\text{m} < X_1 < 5 \mu\text{m}$ であり、前記正極活物質の数平均粒子径を Y_1 とするとき、 $3 \mu\text{m} < Y_1 < 20 \mu\text{m}$ であり、かつ、 $X_1 < Y_1$ である、前記非水系リチウム型蓄電素子。

【請求項 2】

前記正極の断面の顕微ラマン分光測定により得られるイメージング画像において、断面積に占める炭酸イオンマッピングの面積比率が、2 % 以上 20 % 以下である、請求項 1 に記載の非水系リチウム型蓄電素子。

【請求項 3】

正極、負極、セパレータ、及びリチウムイオンを含む非水系電解液を備える非水系リチウム型蓄電素子であって、

該負極が、負極集電体と、該負極集電体の片面上又は両面上に設けられた、負極活物質を含む負極活物質層とを有し、

該正極が、正極集電体と、該正極集電体の片面上又は両面上に設けられた、活性炭からなる正極活物質を含む正極活物質層とを有し、

該正極が、該正極活物質層の全質量を基準として、1質量%以上50質量%以下の炭酸リチウム粒子を含有し、

該正極の断面の顕微ラマン分光測定により得られるイメージング画像において、断面積に占める炭酸イオンマッピングの面積比率が、1%以上40%以下であり、

前記炭酸塩粒子の数平均粒子径を X_1 とすると、 $1\mu\text{m} < X_1 < 5\mu\text{m}$ であり、前記正極活物質の数平均粒子径を Y_1 とすると、 $3\mu\text{m} < Y_1 < 20\mu\text{m}$ であり、かつ、 $X_1 < Y_1$ であり、そして

該非水系リチウム型蓄電素子において、セル電圧4Vでの初期の内部抵抗を R_a (Ω)、静電容量を F (F)、電力量を E (Wh)、蓄電素子の体積を V (L)としたとき、以下の：

(a) R_a と F の積 $R_a \cdot F$ が0.3以上3.0以下である；

(b) E/V が15以上50以下である；

を同時に満たすことを特徴とする、前記非水系リチウム蓄電素子。

【請求項 4】

正極、負極、セパレータ、及びリチウムイオンを含む非水系電解液を備える非水系リチウム型蓄電素子であって、

該負極が、負極集電体と、該負極集電体の片面上又は両面上に設けられた、負極活物質を含む負極活物質層とを有し、

該正極が、正極集電体と、該正極集電体の片面上又は両面上に設けられた、活性炭からなる正極活物質を含む正極活物質層とを有し、

該正極が、該正極活物質層の全質量を基準として、1質量%以上50質量%以下の炭酸リチウム粒子を含有し、

該正極の断面の顕微ラマン分光測定により得られるイメージング画像において、断面積に占める炭酸イオンマッピングの面積比率が、1%以上40%以下であり、

前記炭酸塩粒子の数平均粒子径を X_1 とすると、 $1\mu\text{m} < X_1 < 5\mu\text{m}$ であり、前記正極活物質の数平均粒子径を Y_1 とすると、 $3\mu\text{m} < Y_1 < 20\mu\text{m}$ であり、かつ、 $X_1 < Y_1$ であり、そして

該非水系リチウム型蓄電素子において、セル電圧4Vでの初期の内部抵抗を R_a (Ω)、セル電圧4V及び環境温度60℃において2か月間保存した後の、セル電圧4Vでの内部抵抗を R_b (Ω)、環境温度25℃にて、セル電圧を2.2Vから3.8Vまで、3000Cのレートでの充放電サイクルを60,000回行った後の内部抵抗を R_c (Ω)としたとき、以下の：

(c) R_b/R_a が3.0以下である；

(d) セル電圧4V及び環境温度60℃において2か月間保存した時に発生するガス量が、25℃において $25 \times 10^{-3} \text{cc/F}$ 以下である；

(e) R_c/R_a が0.9以上2.0以下である；

を同時に満たすことを特徴とする、前記非水系リチウム型蓄電素子。